

会 議 録		令和 5 年 2 月 14 日 作成	令和 8 年 3 月 末 日 廃 棄
会議名	京都府田辺警察署協議会（令和 4 年度第 4 回）		
開催日	令和 5 年 2 月 13 日（月）		
時 間	午後 1 時 50 分から午後 3 時 40 分までの間（ 110 分）		
場 所	京都府田辺警察署講堂		
出席者	松井会長、中坊副会長、山本委員、吉田委員、上辻委員、古谷委員 垣内委員、 （欠席 柳澤委員、村上委員） <span style="float: right;">計 7 人</span>		
	署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長 交通課長、警備課長、広聴係長 <span style="float: right;">計 9 人</span>		
諮 問 事 項	1 令和 4 年中の犯罪情勢と交通事故発生状況について 2 特殊詐欺の現状と被害防止に向けた諸対策の推進について		
会 議 内 容	1 会長挨拶 <span style="float: right;">司会 警務課長</span> 2 署長挨拶 3 感謝状贈呈 4 協議 <span style="float: right;">司会 副会長</span> 諮問事項説明 (1) 令和 4 年中の犯罪情勢と交通事故発生状況について <span style="float: right;">～生活安全課長・交通課長</span> <b>【委員】</b> 自転車の被害が多いとの説明であったが、被害場所は駐輪場が多いのか、学生マンションが多いのか。 <b>【警察】</b> 学生マンションでの被害が一番多く、次に駅の無料駐輪場での被害が多い。駅周辺の管理人のいる有料駐輪場や防犯カメラが設置されているところは被害が少ない。マンションの駐輪場も同様である。 <b>【委員】</b> 防犯カメラの設置が盗難被害の減少に資するという分析ができているのであれば、具体的な数字を資料化することでマンションのオーナーに設置の依頼をする時にも説得力が出るのではないか。 街頭犯罪の認知件数についての資料を見ると、令和 2 年 12 月は認知件数が減少しているが、これは何か施策をした結果なのか、コロナ禍		

会 議  
内 容

の影響なのか。

【警察】防犯カメラ設置の効果については管理会社を通じてオーナーの方々にも伝えてもらい、防犯カメラ設置依頼を推進している。令和2年12月の認知件数減少については、その要因はわからない。コロナ禍が影響したのかもしれないし、認知件数は届け出た時点でカウントされることから、被害の届出が遅れたことで少なかったかもしれない。

【委員】自転車のヘルメット着用は定められた物を着用しなければならないのか。

田辺中学校の自転車通学している生徒も同じように定められたヘルメットを着用しているのか。

【委員】自転車用ヘルメットは軽いのか。価格はどれくらいするのか。

【警察】SGマークが付いている自転車用のヘルメットを着用してもらいたいのは、安全基準を満たしており、事故を起こした際に保険も適用される。SGマークの付いているヘルメットは教育委員会でも推奨しており、田辺中学の生徒もそれに従っている。

自転車用ヘルメットの価格はSGマークの付いているヘルメットで7,000円程度する。重量については実物を手に取ったところ、非常に軽かった。

【委員】自転車用ヘルメット着用については努力義務と説明されたが、実際にどれくらいの人が着用しているのか。費用が掛かることや、若い人は面倒くさいと思い着用率が上がらないのではないのか。

【警察】現時点で通学で着用している中学生・高校生を除くと、着用率は厳しい数値である。啓発の際に自転車での死亡交通事故の概要についても説明することで着用の必要性について伝えていきたい。

【委員】交通事故に年齢別死傷者数を見ると高齢者が占める割合が多く、安全教室等を増やすことも必要と思う。

交番別発生状況を見ると、田辺駅前交番が激減しているが、何か理由があるのか。

【警察】高齢者向けの交通安全教室は今後も推進していく。田辺駅前交番の事故が減ったのは、昨年、田辺駅前交番受持区で横断歩行者妨害の違反を重点的に取り締まった結果、事故も減少したと判断している。

(2) 特殊詐欺の現状と被害防止に向けた諸対策の推進について

～生活安全課長

【委員】先日、アマゾンからメールが来たので対応していたら、周囲の人に「それ、だまされてるよ。個人情報盗まれてる。」と注意された。このような場合には被害届を出せばいいのか。

【警察】それは「フィッシング」といわれるもので、アマゾンの他にも宅配

会 議  
内 容

業者を名乗るメールも多く、警察安全相談として昨年も相当数を受理している。

【委員】 予兆電話については気を付けようと思っている。しかし、先ほど実際にあった詐欺の電話の会話を聞かせてもらったが、母親でも気付いていなかった。電話についてあらかじめ親子で合言葉を決めている場合は別として、警察や行政からの電話と言われた場合、どこまで疑うべきなのか判断が難しい。

【警察】 警察や行政からの電話でも、途中からお金の話になれば疑うべきである。最近制服の地域警察官が巡回連絡に行った後で、市民の方から「警察官の格好をした人が巡回連絡と言って自宅に来たが、本物の警察官ですか。」という問合せがある。それくらい慎重になっていただいてもいいと考える。

【委員】 予兆電話について、どのような内容なのか。電話に出るとすぐ切れる電話が複数回あるがそのような電話について相談などはあるのか。

【警察】 百貨店を名乗る場合、警察を名乗る場合、行政を名乗る場合などで、「数打てば当たる」という感覚で電話をかけまくるのが実情である。出ると切れる電話については貴金属買取業者の可能性はあるが、今のところそのような相談は少ない。有料サービスになるが、電話が切れた後に「136」にかけると、電話をかけてきた相手が非通知でかけてなければ番号が通知される。その番号について、インターネットで調べるとどのような相手か判明することがある。

【委員】 防犯機能付き電話を設置すれば被害が防げると説明があったが、行政等で補助金を増やして普及促進できないか。

【委員】 今、京田辺市では購入金額の半額を補助してくれる。防犯協会の取組で2,000円の補助がもらえる。防犯機能付き電話は約1万円で購入できるため、京田辺市と防犯協会の補助を使えば4,000円程度で購入できる。井手町、宇治田原町にも頑張ってもらいたい。

【委員】 先ほど、詐欺の電話を聞いたが、母親がなぜ子どもの声を聞き分けられないのか。

【警察】 犯人は「風邪をひいている。」「交通事故で怪我をして手術したから声が出ない。」という理由を前振りすると、可愛い自分の子どもが何百万円を払わないといけない状況に追い込まれていることに気持ちが集中してしまい、平常心を失ってしまうのが実情と思われる。

【委員】 特殊詐欺ではないが、スーパーで返金詐欺というのが発生した。購入していない商品を返品すると受付に来た客が高圧的な態度のため、対応する店員もレシートを確認せずに返金してしまうケースがある。田辺警察署管内でそのような被害は増えていないか。

会 議  
内 容

【警察】万引きした商品を購入したように見せかけ、「これ要らないから返す。レシートは無くした。」と言いつける手口は昔からあったが、ここ2年間でそのような事案は認知していない。以前、他署管内で高額な調理器具を万引きし、返品を装う事案を取り扱ったことはある。

【委員】先日、米を万引きし、返品する事案があった。これから増えるのかもしれない。

【警察】警察に通報していただければ対応する。

【委員】コロナ禍で集会やイベントが少なくなり人と接する機会も減っている。高齢者は人とのつながりが希薄になることで、自宅の固定電話には「出なければならぬ」と思い込んでしまい、結果として被害に遭うと思う。今後は地域での活動も増やしていけないか。

【警察】今後は行政機関との連携を強化して、地域での防犯教室や交通安全教室等の啓発活動の機会を増やしていきたい。

【委員】特殊詐欺について認知件数よりも未然防止できた件数が上回っていることは凄いなと思う。これからもショッピングセンターでの啓発活動を推進するのは必要だと思うが、高齢者で買い物に行けない方も多いため、食料品を宅配する業者を利用してチラシを配布するなどの広報啓発はできないか。

【警察】宅配業者や食料品の配送業者などへの協力依頼も検討していきたい。

【委員】予兆電話について、犯人が使うのは固定電話か携帯電話かどちらが多いのか。

【警察】携帯電話でかけてくることが多い。

【委員】現在、企業は、様々な所に拠点を置いており、関西の企業も海外に拠点を置いているところもある。特殊詐欺のかけ子の使う電話も含めて、海外からの電話はどう判断すればいいのか。

【警察】番号通知していれば、国内からの電話であれば+81で始まる。それ以外は外国からの電話と判断できる。IP電話では国内、国外という概念が無くなっているため、番号だけで詐欺の電話かどうかの判断もできないし注意が必要である。

【委員】先日、同僚がLINEを乗っ取られ、私にプリペイドカードを買いに行ってほしいと連絡がきた。同僚がすぐ近くにいたのでおかしいと判断できたが、スマートフォンや携帯電話では相手が本当に本人かどうかの見極めが難しいと感じた。固定電話は防犯機能付き電話の成果がこれだけはっきりと数字に出ていることから、今後も普及に力を入れてもらいたい。

【委員】不審な電話、身に覚えのない電話やメールが届いたときに誰かに相談できる体制作りが重要だと思う。素人がいくら考えてもすぐに解決

会 議  
内 容

はできないが、警察に相談すると適切なアドバイスをもらえ、被害にも遭わない。我々、警察署協議会委員も周囲の人に警察に相談することを勧めることを心掛けたいと思う。

【委員】 特殊詐欺の被害者の中で、聞きだされた個人情報を利用して、何年か後に別の詐欺グループから再びアプローチがあることはあるのか。

【警察】 名簿として出回っている可能性があり、他のグループから再度、アプローチがある可能性はある。かけ子の拠点から押収された名簿については、生活安全課にリストとして送られてくる。そのリストに名前がある方については、生活安全課から個別に啓発活動を行っている。

【委員】 最近、回転寿司店等での迷惑動画が話題になっているが、田辺警察署管内では発生していないのか。

【警察】 管内での認知はない。

5 事務連絡

令和5年度第1回警察署協議会は、新規委員が委嘱された後の6月頃に開催を予定している。

以上

## 第4回京都府田辺警察署協議会の開催状況

